

「代表者決意表明」

社会福祉法人郡山福祉会

地域密着型特別養護老人ホームうねめの里はるひめ 介護職員

白川 幸介 （令和3年4月1日入職）

私は幼い頃から、身体に障がいがある姉の身の回りの手伝いをする中で、介護の仕事に興味を持ち始めました。具体的にどんな仕事なのか調べていくうちに、やりがいのある、とても魅力的な仕事であると感じたのが、私が福祉・介護の仕事を目指そうと思ったきっかけです。

介護を一から学びたいと思い専門学校に進学し、専門的な知識や技術を身につけ、介護福祉士の資格も取得することが出来ました。専門学校卒業後、社会福祉法人郡山福祉会に入職して3ヶ月が経ちました。先輩職員の指導のもと、目の前の事からコツコツと丁寧な関りを心がけ、早く一人前になり地域福祉に貢献できるような職員になれるよう日々努力しています。

私は将来、入居様はもちろん同じ職員の方々等、誰にでも気軽に頼って頂ける介護士を目指しています。その為にもしっかりと基礎を固めて、どのような場合にも臨機応変な対応ができるように努力を惜しまず、初心を忘れずに精進していきます。

学校ではなく、実際に介護の現場で働くことによって学んだことが多くありました。その中で、入居様に不安を与えないような声掛けや、伝え方の難しさを実感しました。初めは気持ちを上手く伝えられなかったのですが、繰り返し丁寧に関わることによって、信頼関係が出来る中で、入居様から「いつもありがとう」「助かったよ」等の言葉をいただいた時はとても感動し、この仕事を選んで良かったと実感しました。これからもっと経験を積んでいき、その経験した内容を次の世代に繋いでいくのも自分の大事な役割であると考えます。これからも、将来の福祉・介護業界のために、自らしっかりと考え、行動していきたいと思えます。